

# 地域公共交通網形成計画策定に向けての要点整理

## 第1章 はじめに

### 1 計画策定の背景と目的

- ・本市では、人口減少や少子高齢化の進展、自家用車の普及などにより路線バスや鉄道利用者の減少が続いている。
- ・現在、福祉バスを運行しているが、誰もが利用できるコミュニティバスの運行など、交通利便性の向上を求める意見が多く寄せられている。
- ・「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正により、まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの確保の取組みが推進されている。
- ・これらのことに対応するため、公共交通の利便性・効率性の向上を図り、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを構築するための、「地域公共交通網形成計画」を策定する。

### 2 計画の位置づけ

- ・「みやま市総合計画」を上位計画とし、「みやま市都市計画マスタープラン」、「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「みやま市観光振興計画」と連携するものとする。

### 3 計画の対象区域と計画期間

- ・対象区域はみやま市全域とする。
- ・計画期間は平成30年度～平成34年度の5年間。
- ・必要に応じ見直しを行い社会情勢や市民ニーズの変化に対応する。

## 第2章 地域の現状等

### 1 地勢・地理的特性

- ・福岡県の南端に位置し、海・山・川の自然があふれる。
- ・温暖な気候や豊富な日照時間に恵まれ県内有数の農業地帯を形成。
- ・清水山をはじめとする観光資源や幸若舞、新開能などの伝統文化が息づく。

### 2 社会経済特性

- ・本市の就業者比率は、第三次産業就業者数が全体の半分以上を占めており年々増加傾向にある。
- ・第一次産業就業者数は、国、県と比べると高い比率となっているが、年々減少が続いており後継者の確保が課題となっている。
- ・豊富な日照時間を活かした再生可能エネルギーの普及やバイオマス都市構想に

基づく環境にやさしいまちづくりを展開。

### 3 公共交通の整備状況

- ・鉄道は、JR鹿児島本線の3駅（瀬高駅、南瀬高駅、渡瀬駅）と西鉄天神・大牟田線の2駅（江の浦駅、開駅）あり。
- ・路線バスは、堀川バスが1路線（瀬高柳川線）あり、JR瀬高駅から柳川市まで運行。
- ・小学校の統廃合によりスクールバスを運行。
- ・高齢者などを対象とした福祉バスを廃止しコミュニティバスの運行を開始。

### 4 公共交通の利用状況

- ・市内JR駅及び西鉄駅の1日あたり利用者数を掲載（過去5年間）
- ・堀川バスの年間利用者数を掲載（過去5年間）
- ・福祉バス年間利用者数を掲載（過去5年間）

### 5 市民ニーズ、利用者ニーズなど

- ・市民アンケート調査
- ・高校1年生アンケート調査
- ・バス（路線バス、福祉バス）利用者ヒアリング調査
- ・主要施設管理者アンケート及び利用者聞き取り調査
- ・駅利用者アクセス特性調査

## 第3章 基本的な方針

- 1 公共交通が果たすべき役割
- 2 公共交通の課題
- 3 目指す公共交通の将来像
- 4 公共交通に関する取組みの方向性

## 第4章 計画の目標

- 1 目標及び数値目標
- 2 実施期間及び実施主体

## 第5章 計画の達成状況の評価

各種アンケート及びヒアリング調査結果や協議会での意見を踏まえ、次回提案。